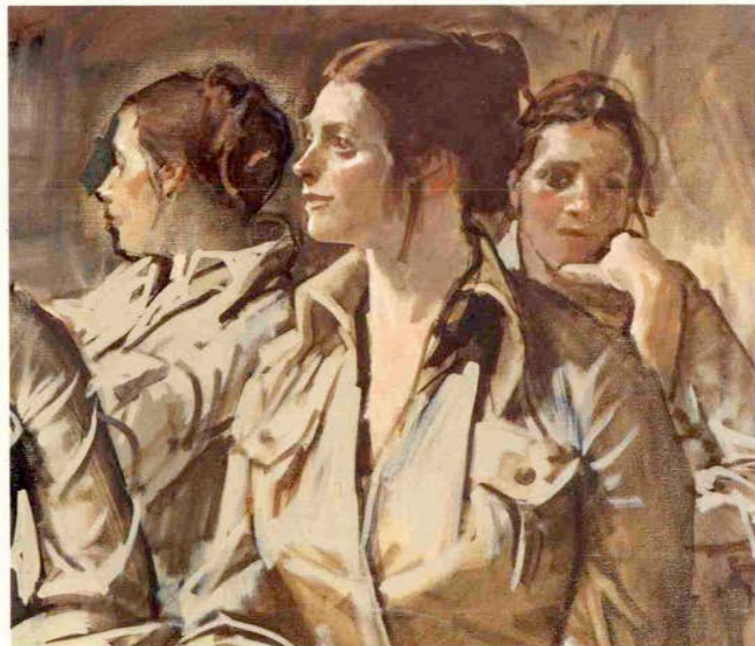


THE KOBECOCO3

MARCH 1979 NO.215 神戸っ子

神戸っ子 昭和40年1月20日第3種郵便物認可
昭和54年3月1日印刷 通巻215号
昭和54年3月1日発行 毎月1回1日発行



 BENIYA

雪どけの音を

聴きでもするかのように

耳を澄ましてごらん。

ベニヤクオリティファッション、

フレッシュな衣ずれの音が

もう春を告げている！

LADIES SHOP
Beniya

the ladies fashion of the four seasons. creative beniya

本店—神戸市生田区三宮町センター街1丁目
ニューセンター1F・2F ☎332-2135
エルベ店・さんちか店



Christian Dior

この春のドロテビス。
カラーコーディネイトは
幻想的な遊園地へと
心を誘います。

Sanohe

サ ノ ヘ

元町2丁目(078)331-4707

ヌーベルサノヘ

元町1番街(078)321-1710

クレージュ.サノヘ

トアロード(078)331-1952

e.j. jacobson
dorothée his

くれなるの…



春めいてまいりました。白い指先で躍る紅色が風景ととけあう季節です。

…宝飾店
Tajima
タジマ

元町2丁目 TEL 331-5761代表

タジマでは宝石の鑑定を無料でご相談に
応じておりますのでお気軽にご利用下さい
定休日は水曜日です

スケッチブックから ● 僕の見た神戸 その3 異人館長屋



絵・西村 功

海老

●旬のもの……………ウド・セリ・イイダコ・エビ・小鮎……………



神戸割烹

お可川

〒650 神戸市生田区北野町1丁目115-2 ☎神戸(078)222-3511(代)

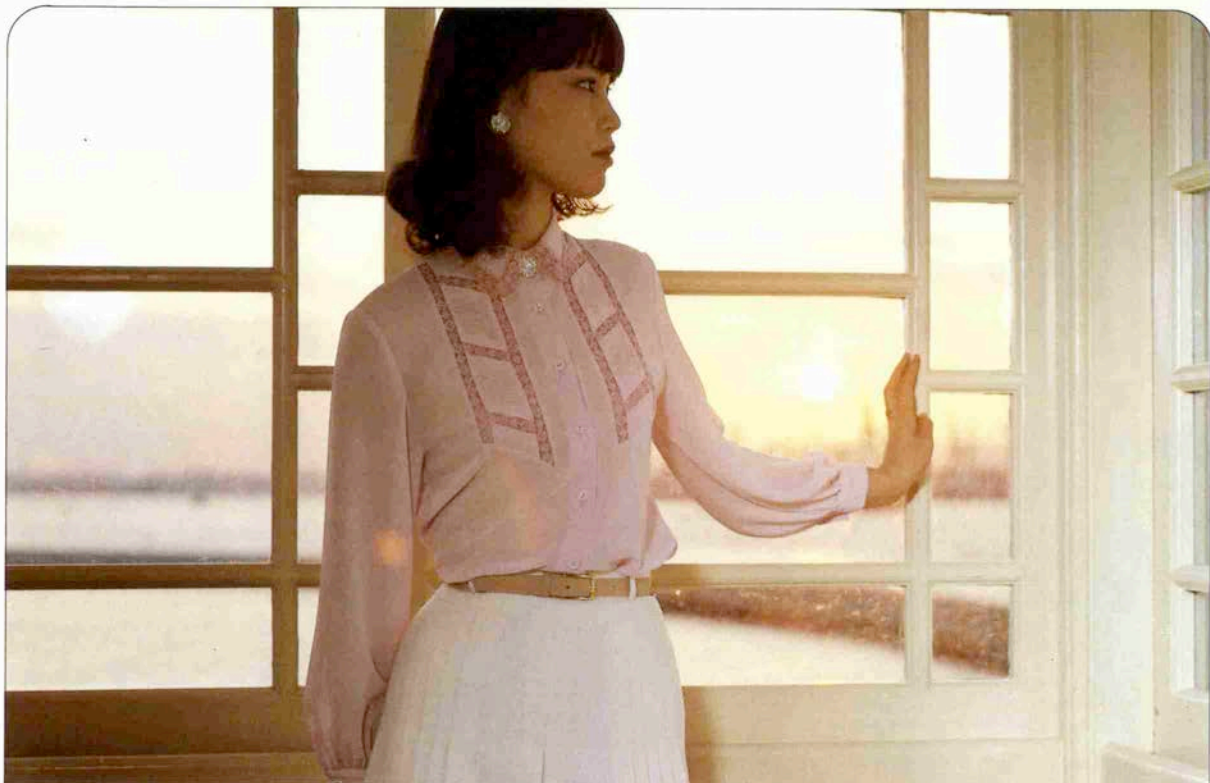
ゴルダーオパールのパendant K18, ダイヤモンド 0.83ct ¥1,200,000 / デザイン: 福留洋美



Designed By Tasaki

女性は、胸にもうひとつの瞳をもつことができる。つぶらなオパール・ペンダント。田崎真珠

札幌・東京・横浜・名古屋・大阪・神戸・福岡・香港・北京・上海・カカクのご希望は、〒100 東京都千代田区永田町2-4-3 永田町ビル内田崎真珠販売企画室TEL/03-580-1688までご連絡ください。(※) あなたの真珠はパールマーケットの店です。



いま、私のファッション…



株式会社 **パール**

7-1-2, Isogamidori, Fukiai-ku, kobe, 651
tel. 078 (232) 3333

“愚者”を書き続ける

桜井利枝

△「AMAZON」同人▽

桜井さんの家は代々の農家だそう。訪ねた自宅も江戸時代の建築とかで、そういえば桜井さんの表情のどこかに農家の嫁のもつ善良さが伺える。ご自身も「鈍な人間」「愚な人間」であると自認する。「格好よさとか、世渡りがうまいとか、そんなことは縁のない愚かな人間の悲しみみたいなものを書きたかったんです」。昭和五十年には「もすの庭」で日本農民文学賞を受賞。「農家が宅地開発されて行く現状を見て、これでいいのかと思ひましてね……。肥沃な土地で、好い畑地なのに、トラックで運んだ砂利の下敷になって行く。土地が死ぬのは見ていて悲しいですねえ」。昭和十二年二月、尼崎市生まれ。文学を志すことになった直接のきっかけは推められて文章講座へ顔を出してからで、六、七年前のことだ。その後「AMAZON」の同人となる。現在は隣家の協力を得て農作業をするかたわら創作をつづけているが「素材は農民に限らず、私のように愚かな人間を書いて行きたい」というとき、善良な農民の面影は消え、文学へ挑む一人の作家の厳しい横顔が、そこに伺えるのだ。（自宅にて）



新分野への情熱

米田博司

〈神戸市立心身障害
福祉センター〉

「採算を考えず、個人の情熱で身障者の洋服デザイン研究を続けるなんて、なかなかできることやない」というのが選考委員の一致した意見だった。昨年は神戸市がこの研究のために三百万円もの予算をつけたと新聞でも話題になったが、これも米田さんが三年前に庁内の職員提言で口火を切ったことの成果といえる。

仕立技術を持つ米田さんが神戸市総合福祉センターで身障者に授産の技術指導に取り組んで二十年になる。百四、五十名の身障者を社会へ送り出したが、車椅子を使ったり、松葉杖をつく彼ら自身は自分の服がうまくできない、体に合った機能的な服というのが全く未開の分野だったことを痛感した。幸い米田さんが所属するK・F・S（コップ・ファッション・ソサエティ）には婦人・紳士服のデザイナーもいて積極的に協力してくれる。行政がとりあげ、開発が進み、採算ベースに乗るとなればメーカーもとり合うようになるかもしれない。仕立技術を持つ身障者の働く場も確保できる——底辺からのファッション都市づくりを目指す情熱が漲っている。長田生まれ。（センターで）



●月刊神戸っ子18周年記念

第8回ブルーメール賞／音楽部門受賞者

カメラ／後藤 孝

意欲的なプリマドンナ

坂本

環

〔関西歌劇団
ソプラノ〕

昨年の関西歌劇団定期公演では、五月にモーツァルトの「ドン・ジョバンニ」、十一月にヴェルディの「トロヴァトーレ」を上演。それらの主役を演じたのが坂本環さん。

武庫川女子大学音楽部声楽科を卒業して、一九七五年、同歌劇団第三十八回定期公演「フィガロの結婚」のバルバリーナ役でデビュー。その後「椿姫」のアンニーナ、「カバレリア・ルスカカーナ」のサントウツツア、「リゴレット」のジルダを演じた。この「カバレリア」と「リゴレット」の好演に対して、七十七年度音楽クリティッククラブ新人賞と神戸灘ライオンズクラブ音楽賞を受賞している。

「トロヴァトーレが今までのなかでも一番むつかしかったですね」と話す。一作一作に進歩しながら、声も安定してきたようだが、「声が練れて、もっと充実した声を出したい。……声が欲しいですね」と意欲的。とはいえ、ドラマティックに歌い、演技にも魅力、そして将来性に期待されるプリマドンナの登場である。



素質に培う感覚の磨きを

藤井徳三

〈能楽師〉

「おこがましいです。頑張ります」受賞の知らせにボツリと感想を。「あまり多くを語らない性格」だそうで、反面吐き出された言葉には聞く側に、この人の誠実さを強く印象づけてしまう。父君、親世流職分藤井久雄さんのもとに五歳で初舞台を踏み、中学生の時、能楽師の道を歩むことを決意。高校（葦合高校）卒業後、親世流宗家に入門、以後八年間、稽古に稽古を重ねることゝに邁進。伝承の形態で現代に受け継がれてゆく能の世界に於て家元制度は重要な産物である。と同時に封建制も根強く、内弟子時代は精神修練の場でもあった。「謙虚な心で芸に對峙すること」を学び、その本質に基づいた地道な努力が今日の素直な芸風の内に確かに潜んでいる。

美声、力強い声量の幸運な素質そして将来性、また学生鑑賞能、能楽教室などでの普及活動に對する意欲が評価され賞に結びついた。「能はタイミングの芸術。独特の感覚、能らしいカンを磨くためにより精進を……」新たな抱負に「能って大変なもの」と実感をこめて。

〈藤井観詠会能舞台にて〉



●月刊神戸つ子18周年記念

第8回ブルーメール賞／美術部門受賞者

溢れるエネルギー

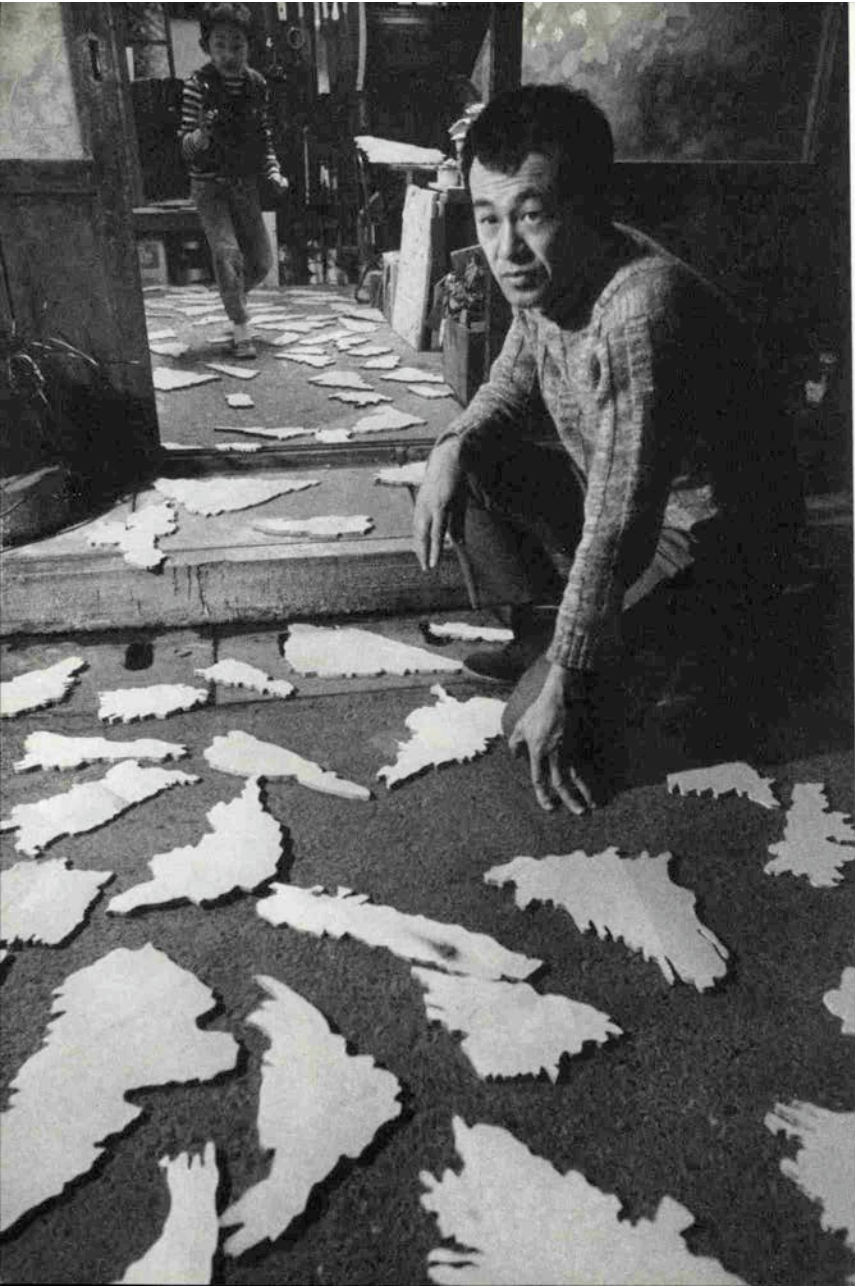
堀尾貞治

（アーティスト）

カメラ／米田定蔵

堀尾さんの作品発表活動は旺盛だ。昨年だけで個展、グループ展など計27回。その都度、全力投球でアイデアと表現につぎることなく発表をしつづけている。「少しある一つのテーマを追求していいものではないか、もうそろそろ作品を整理する時期では、と言われるんですが僕としては、それ以上ねばりようがないから今までやってきたことをやめて、他にやらんことをするんです。見えてしまったらもうそれ以上追求したくない」。

17才の時東京の自由独立美術展に入選。具体美術、芦屋市展などで発表を続け具体解散後は全くの一匹狼。「人間で一人で行った考え込むので一杯飲んで人と話して考えてることを打診したら響いてくる友だち」のいるぶんぐらへ行き、次なる作品のエネルギーを貯える。素材は廃材や紙などを使い、何からでも、の自体に思想があるはずだからと気どらずどんどん作る。「本当に面白いものは自由でなくてはならないはず」と。三年前急性白内障で目が悪くなりその時に命が、かつとかないかんと精神的に成長、「いつまでもわけのわからんやつちゃ」と言われるような、一つの形にはまりこむことのない生きざまを見せていきたい堀尾さんである。昭子夫人も造形作家（自宅で



●TEA LIFE IN KOBE

この時、この紅茶。

ストレートで毎日七、八杯…。

●バイオリネスト

私と紅茶のつきあいは毎日、七、八杯。

砂糖なしのストレートで気さくに飲んでいきます。朝食の時、まず一杯。あとはレッスンの間とか、お客さまがいらつしやつてい
る時とかに……。紅茶のあのルビー色と香りに、ほっとするの
です。

私にとってバイオリンは生命で、バイオリンのために部屋を
絶えず乾燥させているのです。ところが、私はわりあい喉を
渴かせる体質で、その上に、寒がりやの暑がりや、暖房も、冷房
も使わない時が、年に一週間あるかないか、水、ジュース、お茶
など、ガブガブ飲んでいたので、甘すぎたり、強すぎたり、
困っていたところ、ストレートの紅茶が一番だと大発見したわ
けです。

それ以前、砂糖入りの時はそっぽを向いていたのに、今や、
一日、七、八杯という紅茶党になりました。これも私の音楽
家としての身体のコンディションづくりに、ぴったりに合ったから
です。私にとって紅茶は健康管理屋さんともいえるでしょ
うか。切っても切れないつきあいなのです。

(辻 久子さん)現在、バイオリン界のトップ奏者。『天才少女』で始まった辻さんのバイオリン歴
もう50年近い。数年前、名器ストラディバリウスで話題を呼んだが、それも実は彼女のバイオ
リンへの厳しい姿勢を物語るものだ。音楽への厳しさと反対に、実際の辻さんは気さくな人柄、
ストレート紅茶の爽やかさにも似ていた。大阪芸大教授。

ブルックボンド紅茶
Brooke Bond Tea
LONDON ENGLAND



PHOTO / 後藤 孝

イメージの神戸

〈24〉堀内 正和
〈彫刻家〉



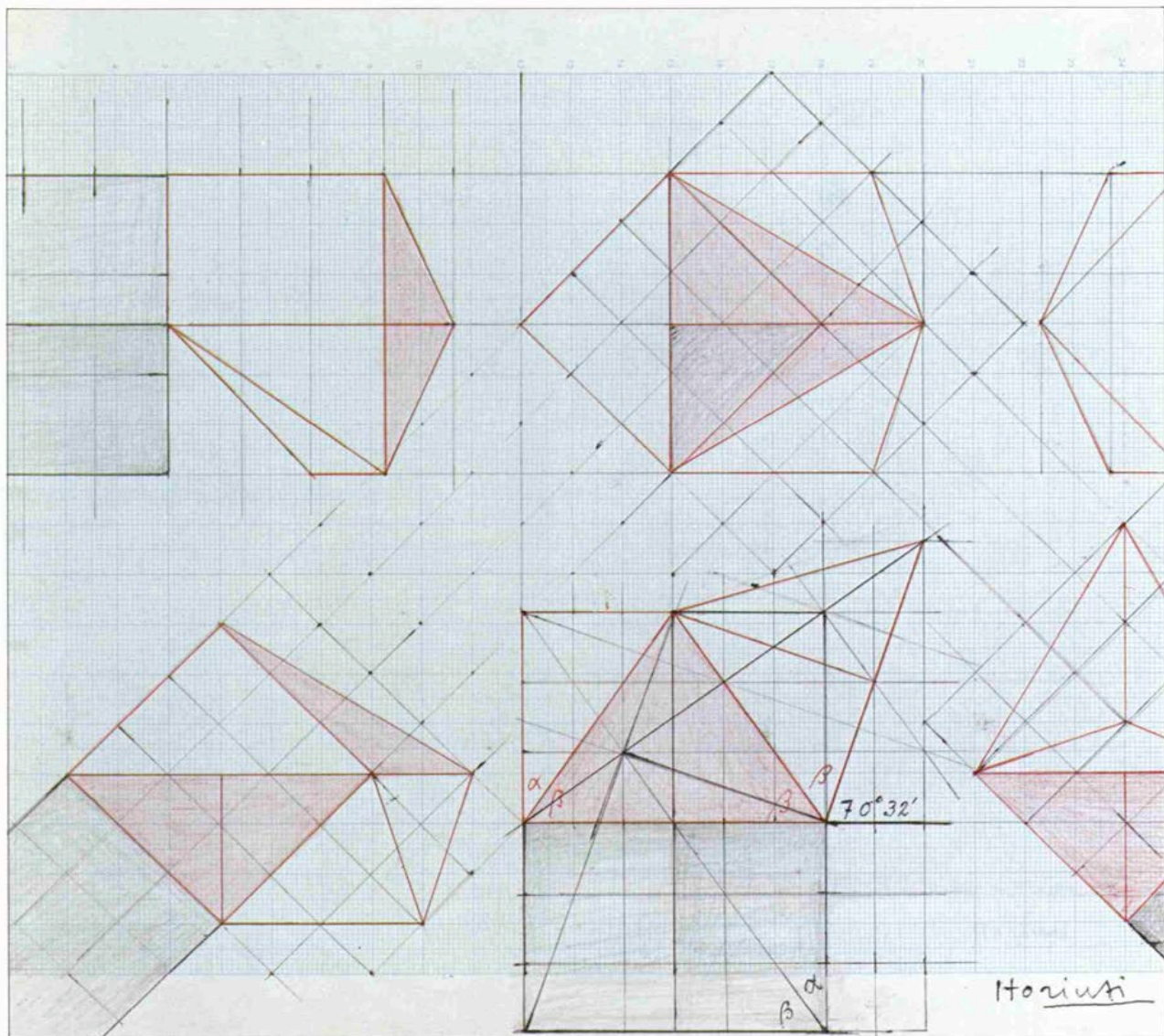
ほりうちまさかず

●一九一一 京都市に生まれる ●一九二九 二科展初入選 ●一九五三 抽象と幻想展（東京近代美術館出品） 以後サンパウロビエンナーレ展、ロタン美術館国際現代彫刻展、アントワープ市現代彫刻ビエンナーレ展、クッゲンハイム国際美術館、インドルリエンナーレ展などに出品 高村光太郎賞 第一回現代国際彫刻展大賞（箱根彫刻の森美術館）など受く、京都市立芸術大学名誉教授

神戸とは神社領の民戸のこと。神社の近くに住み、神社に租税を納めていた人々の家のことで、近畿には神戸（コウベまたはカンベ）という地名のところが沢山あるそう。神戸っ子たちが住むこの神戸は生田神社の神戸で、日本書紀巻第九・氣長足姫尊・神功皇后の巻に『また稚日女尊、誨へまつりて曰はく、吾は活田長峽国に居らんとす』とあるこの活田がいまの生田だ。長峽国は長く尾をひく地形のことだろうが、これを生田長峽国と訓み、ナガサはシユメール語のナグ・ウツ（Naga Ut, 日神鎮護地）に由来し、生田のイクは火神で、夕は助辞とする説もある。いずれにしても、海と山に挟まれた細長い日あたりのよい傾斜地に日神または火神を祭った生田の神戸は大昔から明るいところであった。

それから大分時代は降るが、今から二十数年ほど前、僕は週に一日だけ神戸大学教育学部に造形の基礎訓練を教えに来ていたことがある。六甲の麓に登り降りするその行き還りの道は、砂が白くて明るく、その日は気分が一日中晴れ晴れしたものである。トアロードをぶらぶらと登り降りして、そのあと支那料理を食べて帰ることを楽しみにしていた一時期の僕には、神戸は明るくてそしておいしい町であった。

近頃は、一年おきに須磨離宮公園現代彫刻展の審査に来るだけの神戸になってしまつて、ちょっと淋しい。そのスマ展では、これはよい作品だと思ひながら、心ならずも落選にしまふことなどあり、スマせん。



Horiuti